

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		431-02-03	
事務事業名		白鳥児童館運営事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		072-957-4900	
担当部署名		白鳥児童館		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち		款	10	教育費
	施策	3	子ども・若者育成支援		項	5	社会教育費
	施策の方向	1	健やかな成長支援		目	3	少年健全育成事業費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	乳幼児から小学校に在学する児童、保護者					
	目的 (どうしたいか)	子どもに健全な遊びを与えるとともに、地域における子育て支援を行い、子どもを心身ともに健やかに育成することを目的とする。					
	手段 (事業内容)	子育て親子の交流の場の提供、交流の促進、子育て相談等の子育て支援事業。主に小学生を対象にした遊びの場の提供、遊びの指導、工作や体験型教室の開催。地域との連携・交流を深めるイベントの実施。留守家庭児童会白鳥教室の施設提供。					

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和3年度決算)※	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 報酬 98,000円 報償費 3,339円 旅費 1,420円 需用費 414,918円 役務費 53,665円 【特定財源】	
当初予算額	事業費	652	649	544		
決算額	事業費	517	572	—		
	特定財源等	0	0	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	施設の開設日数	単位	日
指標の説明	1年間に開館した日数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	251	249	293
実績	251	249	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	施設の利用人数	単位	人
指標の説明	1年間に施設を利用した人数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	12,000	7,000	7,000
実績	6,238	5,230	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
児童の利用は校区内である白鳥小学校の児童に限られるため、以前より市内全域からの利用者を増やすことを目標として、就学前の親子の利用の充実に努めてきた。その結果、平成29年度から子ども・子育て支援交付金を受けて、月曜から金曜日の午前中の事業を地域子育て支援拠点事業として、利用対象者を乳幼児の親子にまで拡大して実施した。令和元年度から新型コロナウイルスの影響で年間利用者数は減少しているものの、現在も市内全域から利用される事業である。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)
今後も地域の子どもの健全育成と子育て支援及び居場所づくりとして継続していくとともに、高学年の児童の利用数を増やすことが課題である。児童館の規模が小さく施設面でも難しい面もあるが、興味のある遊び等を提供できるよう、事業の充実に努めていきたい。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		431-02-04	
事務事業名		白鳥児童館施設管理事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		072-957-4900	
担当部署名		白鳥児童館		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち		款	10	教育費
	施策	3	子ども・若者育成支援		項	5	社会教育費
	施策の方向	1	健やかな成長支援		目	3	少年健全育成事業費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	白鳥児童館					
	目的 (どうしたいか)	利用者が安全に、快適に施設を利用できる。					
	手段 (事業内容)	施設及び設備の保守・点検、及び清掃、植栽等の環境整備。					

予算・決算額		(単位:千円)			《主な内訳(令和3年度決算)》	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度		
当初予算額	事業費	965	1,460	1,369	【事業費】	
決算額	事業費	8,422	1,440	—	需用費	664,260円
	特定財源等	0	0	—	役務費	132,000円
					委託費	143,000円
					需用費(臨時)	500,000円

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	職員による施設清掃の実施	単位	日
指標の説明	開館日は毎日清掃している		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	251	249	293
実績	251	249	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	臨時閉館日数	単位	日
指標の説明	メンテナンス作業等を除き、施設の不備により休館となった日数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	42	44	0
実績	42	44	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	(今後の改善内容)
白鳥児童館を運営していく上で、施設管理の業務は不可欠である。 また、小規模な施設であることから、館内清掃等は平成28年度から職員が直接行っており、コスト削減に努めている。	今後は、経年劣化による修繕が必要な個所について、順次手当していきたい。